

第142回免疫系発生学セミナー

# 近藤 滋 教授

大阪大学大学院生命機能研究科  
パターン形成研究室

## 数理モデルは“本当に” 実験生物学に役立つ のだろうか？

2013年3月8日 金曜日

17:00 - 18:30

疾患プロテオゲノム研究センター  
1F 交流ホール

近藤教授は、生物のからだのかたちがどのような原理でできるかを、理論的に解明し、それを実験的に検証する研究を進める国際的リーダーです。この度、ご来学いただく機会を得ましたので、セミナーをお願いいたしました。多数のご来聴をお待ちしております。なお本セミナーは大学院講義を兼ねます。

Sci Rep. 2012;2:473.

Science. 2010 Sep 24;329(5999):1616-20.

Proc Natl Acad Sci U S A. 2009 May 26;106(21):8429-34.

Science. 2012 Feb 10;335(6069):677.

Nat Commun. 2010 Sep 7;1:66.

問合先: 疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野/大学院医科学教育部免疫系発生学  
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)

徳島大学基因组研究中心遺傳子實驗施設第壹百四拾貳回特別講演會